

公立大学法人青森県立保健大学中期目標の比較（第二期と第三期案）

第二期（第三期で変更：下線）	改正の視点	第三期（案）（第二期からの変更：赤字下線）
<p>公立大学法人青森県立保健大学中期目標</p> <p>前文</p> <p>1 理念</p> <p>公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育んできた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学（以下「大学」という。）を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献する。</p>		<p>公立大学法人青森県立保健大学中期目標</p> <p>前文</p> <p>1 理念</p> <p>公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育んできた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学（以下「大学」という。）を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献する。</p>
<p>2 使命</p> <p><u>(1) 大学の教育理念にふさわしい学生を受け入れ、より質の高い学術を教授研究するとともに、人間性豊かでグローバルな視点を持ち、かつ、地域特性に対応できる能力を兼ね備えた保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を育成する。</u></p> <p><u>(2) 保健、医療及び福祉の教育研究拠点として培った人的資源や教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与する。</u></p>	<p>●学生募集に用いる学生案内等で大学が使用している分かりやすい表現を参考に修正</p>	<p>2 使命</p> <p><u>(1) 人間性豊かな人材の育成</u> <u>生命に対する深い畏敬の念と倫理観、人間を総合的に把握し理解できる幅広い教養を身につけた人材を育成する。</u></p> <p><u>(2) 保健、医療及び福祉の発展に寄与できる人材の育成</u> <u>保健、医療及び福祉の連携・協調に向けて能力を発揮し、中核的な役割を果たせる人材を育成する。</u></p> <p><u>(3) 地域特性へ対応できる人材の育成</u> <u>気候、風土、生活習慣など、青森県の特性を考慮しながら問題解決へのアプローチができる人材を育成する。</u></p> <p><u>(4) グローバルな視野をもって活躍できる人材の育成</u> <u>外国語等のコミュニケーション手段を用い、グローバルな視野をもって活躍できる人材を育成する。</u></p> <p><u>(5) 地域社会への貢献</u> 保健、医療及び福祉の教育研究拠点として、<u>教育研究成果を広く地域社会に還元するとともに、産学官民の連携した取組による地域貢献活動を展開し、県民の健康と生活の向上に寄与する。</u></p>
<p>3 基本姿勢</p> <p><u>学生がヒューマンケアの学びを通して主体的に考え行動するよう、学生の人間的成長を培う教育に取り組むとともに、全学が一体となって大学の専門分野である保健、医療及び福祉の知識を生かし、地域における知の拠点として地域課題の解決に取り組む。</u></p>	<p>●理念と使命の実現に向けた基本姿勢であることを明確にした。</p> <p>●積極的或いは自律的に取り組むことや、地域と連携を図ることを基本姿勢として示した。</p>	<p>3 基本姿勢</p> <p><u>第二期中期目標の達成状況を踏まえつつ、大学をとりまく社会情勢の変化や、大学改革等の動向を的確に捉えながら、理念と使命の実現に向けて積極的に取り組む。</u></p> <p><u>保健、医療及び福祉の教育研究拠点として、人材の育成及び地域社会への貢献の役割を十分に果たせるよう、自律的に取り組むとともに、地域との連携を図る。</u></p>
<p>第1 中期目標の期間</p> <p><u>平成26年4月1日から平成32年3月31日までの6年間</u></p>	<p>●期間の更新</p>	<p>第1 中期目標の期間</p> <p><u>令和2年4月1日から令和8年3月31日までの6年間</u></p>

第二期（第三期で変更：下線）	改正の視点	第三期（案）（第二期からの変更：赤字下線）
<p>第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>1 教育に関する目標</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する目標</p> <p>ア 学士課程</p> <p>アドミッションポリシー（大学の教育理念に基づく入学者受入方針）のもと、入学者選抜に関する情報等を積極的に発信するとともに、選抜方法の工夫を図り、<u>大学で学ぶ目的意識を持ち、大学の専門性にふさわしい資質と能力を備えた人材を受け入れる。</u></p> <p>イ 大学院課程</p> <p>保健、医療及び福祉の各分野でのリーダーとなり得る高度専門職業人を育成するため、<u>大学で学ぶ目的意識や学習意欲の高い人材を広く受け入れる。</u></p> <p>また、<u>社会情勢や入学希望者の状況を踏まえ、定員や教育の実施体制及び内容について見直しを行う。</u></p>	<p>●次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>1 教育に関する目標</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する目標</p> <p>ア 学士課程</p> <p>アドミッション・ポリシーのもと、入学者<u>受入れ</u>に関する情報等を積極的に発信するとともに、選抜方法の工夫を図り、<u>地域の保健、医療及び福祉に貢献にする目的意識が高く、</u>大学の専門性にふさわしい資質や能力、<u>体験から学ぶ力</u>を備えた人材を受け入れる。</p> <p>イ 大学院課程</p> <p>保健、医療及び福祉の各分野での高度専門職業人や<u>研究・教育者となり得る人材</u>を育成するため、<u>地域の健康科学の進歩に貢献する</u>目的意識や学修・研究意欲の高い人材を<u>積極的に</u>広く受け入れる。</p> <p>また、社会情勢を踏まえ、<u>高度な専門性を生かして地域で活躍できるよう受入れ体制の見直し</u>を行う。</p>
<p>(2) 学生の育成に関する目標</p> <p>ア 学士課程</p> <p>(7) 教養教育</p> <p><u>人間性豊かで幅広い教養とグローバルな視点を培う教育を充実させ、国際化や情報化にふさわしい自己表現ができるとともに、主体的に課題を探求し、論理的思考により課題解決ができる人材を育成する。</u></p> <p>(4) 健康科学部共通教育</p> <p><u>各学科の専門性を生かしつつ4学科の連携・協調による教育を行い、チーム医療を担う人材を育成する。</u></p> <p>(ウ) 専門教育</p> <p><u>保健、医療及び福祉の専門職としての倫理観を身につけ、知識と臨床の総合的能力を有し、地域特性を踏まえて実践できる人材を育成する。</u></p> <p>イ 大学院課程</p> <p>(7) 博士前期課程</p> <p>保健、医療及び福祉の連携による包括的サービスの提供を担う、高度で専門的な能力及び幅広い知識並びに豊かな人間性を備えた人材を育成する。</p> <p>(4) 博士後期課程</p> <p>保健、医療及び福祉の連携による包括的サービスの提供を担う、高度な学問的見識及び研究開発能力並びに豊かな人間性を備え、地域の教育研究機関等の中核となる<u>高度な研究者</u>を育成する。</p>	<p>●学士課程を一項目に統合のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>(2) 学生の育成に関する目標</p> <p>ア 学士課程</p> <p><u>カリキュラム・ポリシーに沿った経験知を高める実践的な教育を行い、ディプロマ・ポリシーに掲げた、「自らを高める力」を基盤に、「専門的知識に根差した実践力」と「創造力」を持ち、これからの地域に必要とされる「統合的実践力」を身に付けた、社会情勢の変化に適切に対応し、専門性を生かして地域で活躍できる人材を育成する。</u> <u>なお、学修効果を高め、教育成果の質的向上が図られるよう、定期的にカリキュラムの見直しに取り組む。</u></p> <p>※尚書きは、第二期・第2-1(3)「ア 教育課程の改善」を移動・修正</p> <p>イ 大学院課程</p> <p>(7) 博士前期課程</p> <p>保健、医療及び福祉の連携による包括的サービスの提供を担う、高度で専門的な能力及び幅広い知識並びに豊かな人間性を備えた人材を育成する。</p> <p>(4) 博士後期課程</p> <p>保健、医療及び福祉の連携による包括的サービスの提供を担う、高度な学問的見識及び研究開発能力並びに豊かな人間性を備え、地域の教育研究機関等の中核となる研究者を育成する。</p>

第二期 (第三期で変更: 下線)	改正の視点	第三期(案) (第二期からの変更: 赤字下線)
<p>(3) 教育内容等に関する目標</p> <p>ア 教育課程の改善 <u>学習効果を高め、教育成果の質的向上が図られるよう、教養教育、健康科学部共通教育及び専門教育に係るプログラムを効果的に編成するとともに、定期的にカリキュラムの見直しに取り組む。</u></p> <p>※第三期・第2-1(2)「ア 学士課程」に移動・修正</p> <p>イ 教育方法の改善 <u>学習効果を高め、教育成果の質的向上が図られるよう、知識や臨床技術の確実な習得に向けた授業の充実及び教育方法の継続的な改善に取り組む。</u></p> <p>(4) 教育の実施体制に関する目標</p> <p>ア 教員の教育能力の向上 <u>教育の質を向上させるため、教育成果を踏まえ、研修制度の充実を図りつつ、教員個々の教育力の向上を目指す。</u></p>	<p>●項目を統合又は移動して整理のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>(3) 教育の実施体制に関する目標</p> <p>ア 教員の教育力の向上・教育方法の改善 <u>効果的、組織的な研修を推進して教員個々の教育力の向上を図るとともに、学生の主体的な学修、授業内容の確実な理解を促進するために、多様で効果的な教育方法の改善に継続的に取り組む。</u></p> <p>イ <u>適正な教員採用と編成</u> <u>適正な教員採用と編成を行い、教員の教育、研究、社会貢献及び組織運営活動を進展させる。</u></p> <p>※第二期・第3「2 教育研究組織の見直しに関する目標」を移動・修正</p>
<p>イ 教育・学習環境の整備 人間性豊かで、専門性を備えた学生を育成するため、効果的な教育を行う環境を整備する。 また、学生の学習意欲及び教育効果をより高めるため、<u>学生の学習環境の充実を図る。</u></p>	<p>●表現の修正 (以降、「学習」は「学修」に修正)</p>	<p>ウ 教育・学修環境の整備 人間性豊かで、<u>主体性</u>、専門性を備えた学生を育成するため、効果的な教育を行う環境を整備する。 また、学生の学修意欲及び教育効果をより高めるため、<u>学修環境の充実を図る。</u></p>
<p>(5) 学生への支援に関する目標</p> <p>ア <u>学生への学生生活支援</u> <u>学生生活が充実したものとなるよう、学習、健康及び生活の相談を行うほか、コミュニケーション能力及び社会人基礎力を培い、教育効果をより高めるための取組を行う。</u></p> <p>イ <u>学生へのキャリア支援</u> <u>高い国家試験合格率及び就職率を維持するため、学生の国家資格の取得や就職活動を支援する。</u></p>	<p>●次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>(4) 学生への支援に関する目標</p> <p>ア 学生生活支援 <u>多様な学生が安全・安心な環境の中で、心身ともに健やかに学生生活を送るとともに、自立するための資質・能力を身につけることができるよう、学生生活支援の充実を図る。</u></p> <p>イ キャリア支援 <u>学生の社会的・職業的自立を促し、学生が早い段階から自己のキャリアを考えられるよう、キャリア形成の支援体制の充実を図る。</u></p>

第二期（第三期で変更：下線）	改正の視点	第三期（案）（第二期からの変更：赤字下線）
<p>2 研究に関する目標</p> <p>(1) 研究内容に関する目標 <u>地域課題の解決に向けて、本県が取り組む実効性のある施策の立案・実施を支援するため、保健、医療及び福祉の分野における基礎研究から応用研究までの幅広い分野の研究を推進する。</u></p> <p>(2) 研究水準及び研究成果に関する目標 ア 研究水準の向上 <u>高度な専門教育の実施及び地域課題の解決のため、研究水準の向上を図り、優れた学術研究成果をあげる。</u> イ 研究成果の活用 <u>研究によって得られた成果を大学の教育研究活動に反映させるとともに、知的財産をはじめとする研究成果を積極的に発信し、地域社会で有効活用されるよう取り組む。</u></p> <p>(3) 研究実施体制に関する目標 <u>保健、医療及び福祉の各分野にわたり質の高い研究を行うため、研究環境の改善や研究活動活性化のための組織的な取組の強化等、研究活動を推進する体制の充実を図る。</u></p>	<p>●項目を統合又は移動して整理のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>2 研究に関する目標</p> <p>(1) <u>研究の実施体制の充実</u>に関する目標 <u>研究活動の実施及び発信を効果的に行うために、学部、大学院及び研究担当部門の連携を強化するとともに、外部との連携・協働を推進する。</u></p> <p>(2) <u>研究活動の積極的な推進及び研究成果の活用</u>に関する目標 ア <u>研究活動の積極的な推進</u> <u>高度な専門教育の実施、地域課題の解決並びに保健、医療及び福祉分野の学術の発展のために、多様な専門性を生かして学際的・俯瞰的な視点から研究を推進する。</u> イ 研究成果の活用 <u>研究成果が地域社会、学術分野及び産業界で有効に活用されるよう、多様なチャネルを通じて積極的に発信し、県民の健康で豊かな暮らしを実現するための健康科学の研究拠点となる。</u></p>
<p>3 地域貢献に関する目標</p> <p>(1) 地域との連携や地域貢献に関する目標 <u>大学が有する人的資源及び教育研究成果を活用し、産学官民と連携して、地域課題の解決に取り組む。</u></p> <p>(2) 県民への学習機会等の提供に関する目標 <u>県民に広く学習機会を提供するとともに、社会人の学び直しや生涯学習のニーズに対応することにより、県民の健康と福祉の向上及び地域の発展に貢献する。</u></p> <p>(3) 国際交流に関する目標 <u>国外の教育研究機関等との連携により得られた多様な教育研究成果を地域社会に還元し、県民の健康と生活の向上を図る。</u></p> <p>(4) 人材の輩出に関する目標 <u>保健、医療及び福祉の向上に貢献できる人材を地域に輩出するため、県内就職の促進に向けた取組を行うとともに、県外に就職した卒業生に対し、Uターンを円滑に進めるための取組を行う。</u></p>	<p>●「国際交流に関する目標」の修正内容を踏まえ、「地域貢献及び国際交流に関する目標」に修正</p> <p>●次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>3 地域貢献及び国際交流に関する目標</p> <p>(1) 地域との連携や地域<u>社会の発展への</u>貢献に関する目標 <u>大学の教育研究成果や人的資源を、地域社会における課題解決や県民の学びの機会に生かすとともに、地域との連携・協働を通じて教育・研究の発展を図る。</u></p> <p>(2) <u>地域の保健、医療及び福祉を担う人材に対する継続教育の実施に関する目標</u> <u>地域の保健、医療及び福祉を担う人材の能力開発や多職種連携の推進を目的として、大学院機能も活用しながら、継続的に研修機会の提供や研究支援を行う。</u></p> <p>(3) 国際交流に関する目標 <u>学部・大学院における教育・研究活動を国際的な動向や視点を踏まえて実施・展開するために、海外の教育機関等との連携・交流を図る。</u></p> <p>(4) <u>地域に必要な人材の輩出に関する目標</u> <u>保健、医療及び福祉の中核的役割を果たすことができる人材を地域に輩出する。</u> <u>また、県をはじめとした関係機関とも連携して、県内就職及びUターンの促進に努める。</u></p>

第二期（第三期で変更：下線）	改正の視点	第三期（案）（第二期からの変更：赤字下線）
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標 より効率的かつ効果的な法人運営を図るため、理事長を中心とした役員によるマネジメント体制及び教員組織と事務組織の連携を強化する。</p> <p>2 教育研究組織の見直しに関する目標 教育研究活動の進展や地域ニーズの変化を踏まえ、より効率的かつ効果的な教育研究活動が行われるよう、教育研究組織について、継続的な見直しを行う。</p> <p>※第三期・第2-1(3)「イ 適正な教員採用と編成」に移動・修正</p> <p>3 人事の適正化に関する目標 適正かつ効率的な業務運営の推進及び教育研究の活性化を図るため、柔軟な人事制度の運用、業務内容及び専門性に応じた優秀な人材の確保に努める。 また、職員の質の向上が図られるよう、人事評価システムを軸とした人事・給与制度、研修制度等の活用により、人事の適正化を推進する。</p> <p>4 事務等の効率化・合理化に関する目標 事務の効率化・合理化を図るため、事務処理の簡素化や外部委託の活用を含めた事務組織及び業務の継続的な見直しを行う。</p>	<p>●項目を統合又は移動して整理のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 組織体制の強化に関する目標 効率的かつ効果的な法人運営の基盤となる組織体制を強化するとともに、将来の高等教育の在り方を見据えた適時・適切な組織の再編・見直しを行う。 また、組織を支える大学職員としての専門性の向上のための取組を推進し、人材育成を図るとともに、人事評価システムを軸とした人事・給与制度、研修制度等の活用により人事の適正化を推進する。</p> <p>2 組織運営の改善に関する目標 より効率的・効果的な組織運営を図るため、教員組織と事務組織の連携を強化するとともに、事務処理の簡素化や外部委託の活用を含めた業務の継続的な見直しを行う。</p>
<p>第4 財務内容の改善に関する目標</p> <p>1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標</p> <p>(1) 教育関連収入に関する目標 入学検定料、入学料、授業料等の学生納付金及び受講料等については、社会的事情を考慮し、適正な料金を設定する。</p> <p>(2) 研究関連収入に関する目標 国及び民間の研究助成制度の有効な活用や産学官民の連携強化を図ることにより、外部研究資金及び奨学寄附金を獲得する。</p> <p>(3) 財産関連収入に関する目標 適正な使用料又は利用料を設定した上で、大学施設を積極的に開放することにより、収入の確保を図る。</p> <p>2 経費の抑制に関する目標 職員のコスト意識の改革を図るとともに、大学運営業務全般にわたり、予算の適正かつ効率的な執行、事務事業の合理化等により運営経費の抑制に努める。</p>	<p>●項目を統合等して整理のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>第4 財務内容の改善に関する目標</p> <p>1 自己収入及び外部資金の増加に関する目標</p> <p>(1) 教育関連・財産関連等収入に関する目標 入学検定料、入学料、授業料等の学生納付金及び受講料等については、社会的事情を考慮し、適正な料金を設定する。 大学施設について、適正な使用料又は利用料を設定した上で、県民等へ積極的に開放し、教育研究関連以外の収入を確保する。</p> <p>(2) 外部資金（研究関連収入等）に関する目標 受託研究資金その他運営費交付金以外の外部資金（自己収入）の獲得に努める。</p> <p>2 予算の適正かつ効率的な執行に関する目標 職員のコスト意識の醸成を図るとともに、大学運営業務全般にわたり、事務事業の合理化等により運営経費を抑制し、予算を適正かつ効率的に執行する。</p>

第二期（第三期で変更：下線）	改正の視点	第三期（案）（第二期からの変更：赤字下線）
<p>3 資産の運用管理の改善に関する目標</p> <p>大学の健全な運営を確保するため、経営的視点に立ち、資産の効率的かつ効果的な管理及び活用を図る。</p>		<p>3 資産の運用管理の改善に関する目標</p> <p>大学の健全な運営を確保するため、経営的視点に立ち、資産の効率的かつ効果的な管理及び活用を図る。</p>
<p>第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標</p> <p>1 評価の充実に関する目標</p> <p><u>定期的に自己点検及び自己評価を行うとともに、第三者機関による外部評価を受け、その結果を公表し、教育研究活動や業務運営の改善を図る。</u></p>	<p>●次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>第5 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標</p> <p>1 評価に関する目標</p> <p><u>大学の業務実績について自己点検・評価を行うとともに、第三者評価機関による外部評価を受けてその結果を公表し、評価結果を活用したPDC Aサイクルの運用により、改善・改革を推進して質の向上を図る。</u></p> <p><u>また、教員個々についても教育、研究、社会貢献及び組織運営の状況について自己点検・評価を行うことで、大学組織全体の質の向上を目指す。</u></p>
<p>2 情報公開及び広報の推進に関する目標</p> <p>(1) 情報公開の推進に関する目標</p> <p><u>公立大学法人として運営の透明性を高め、かつ、地域社会に対する説明責任を果たすため、教育研究及び組織運営の状況に関する情報を積極的に公開する。</u></p> <p>(2) 広報の推進に関する目標</p> <p><u>地域課題の解決に向けて、教育研究活動及び地域貢献活動の成果を広く周知するため、積極的な広報活動に取り組む。</u></p>	<p>●項目を統合して整理のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>2 情報公開及び広報の推進に関する目標</p> <p><u>県民をはじめ社会へ説明責任を果たし、運営の透明性を高めて大学の活動に理解や参加を求めるため、教育研究及び組織運営の状況に関する情報を積極的に公開する。</u></p> <p><u>また、効果的、積極的な広報活動を展開して教育研究や地域貢献の成果を広く周知し、大学の存在感を高める。</u></p>
<p>第6 その他業務運営に関する重要目標</p> <p>1 施設設備の整備、活用等に関する目標</p> <p>良好な教育研究環境を整備するため、施設設備の適切な維持管理とその有効活用を図る。</p> <p>2 安全管理に関する目標</p> <p>大学における事故、犯罪及び災害による被害の発生を未然に防止し、安全・安心な教育、研究及び学習の環境を維持するため、安全衛生管理体制と防犯・防災対策の強化を図る。</p> <p>3 人権啓発に関する目標</p> <p>人権が不当に侵害され、良好な教育研究活動や職場環境が損なわれないよう、学生及び職員に対して人権意識の向上を図る取組を行う。</p> <p>4 法令遵守に関する目標</p> <p>業務運営が適正に行われるよう、法令遵守を徹底する取組を行う。</p>	<p>●項目を統合して整理のうえ次の視点で修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりの確な表現 ・より具体的で分かりやすい表現 ・大学の現状に即した表現 	<p>第6 その他業務運営に関する重要目標</p> <p>1 施設設備の維持管理及び活用等に関する目標</p> <p>良好な教育研究環境を確保するため、<u>中長期的な視点に立って、施設設備の適切な維持管理とその有効活用を図る。</u></p> <p>2 安全管理に関する目標</p> <p>大学における事故、犯罪及び災害による被害の発生を未然に防止し、安全・安心な教育、研究及び学習の環境を維持するため、安全衛生管理、防犯・防災、<u>情報セキュリティ等のリスクマネジメント体制強化を図る。</u></p> <p>3 人権啓発及び法令遵守に関する目標</p> <p>人権が不当に侵害され、良好な教育研究活動や職場環境が損なわれないよう、学生及び職員に対して人権意識の向上を図る取組を行う<u>ほか、人権相談に適切に対応する。</u></p> <p><u>また、犯罪、不法行為の未然防止を含め、業務運営が適正に行われるよう、研修等により法令遵守を徹底する。</u></p>